

2020年12月
定例会

総力結集

～もっと好きになる兵庫へ～

発行

兵庫県議会自由民主党議員団政務調査会
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5丁目10-1
TEL:078-341-7711 (内線) 5090
FAX:078-351-0772
MAIL:info@jimin-kengi.org



第352回定例県議会を開き、通算8回目の補正予算案などを可決しました。写真は会派の代表質問に立つ水田裕一郎議員

第352回
定例県議会

通算8回目の補正予算可決

352回定例会を開会し、延べ11日間にわたって感染の再拡大を防ぐための補正予算案などを審議し、可決しました。

コロナ関連では通算8回、総額約7712億円の予算編成で、将来の財政への影響に配慮して国の財源措置を最大限に活用。重症患者が急増した場合の受け入れ対応力の強化や保健所体制の充実、中小企業への運転資金の支援などを進める決まりました。

また、わが会派から政務調査会長の水田裕一郎議員が代表質問に立ち、9項目にわたりて県当局に質しました。

全国的に新型コロナの感染が急速に拡大しています。県民、事業者のさらなる協力のもとにコロナに負けない対策を一層徹底していかねばなりません。

兵庫県議会は12月1日、第352回定例会を開会し、延べ11日間にわたって感染の再拡大を防ぐための補正予算案などを審議し、可決しました。

コロナ関連では通算8回、総額約7712億円の予算編成で、将来の財政への影響に配慮して国の財源措置を最大限に活用。重症患者が急増した場合の受け入れ対応力の強化や保健所体制の充実、中小企業への運転資金の支援などを進める決まりました。

また、わが会派から政務調査会長の水田裕一郎議員が代表質問に立ち、9項目にわたりて県当局に質しました。

全国的に新型コロナの感染が急速に拡大しています。県民、事業者のさらなる協力のもとにコロナに負けない対策を一層徹底していかねばなりません。

兵庫～東京間に高速大容量の通信回線！進出企業に無償提供

売り上げ減の中企業に貸し付け支援も

兵庫の元気回復に向けたポストコロナ社会を見据え、高速大容量の通信環境「兵庫情報スーパーハイウェイ」を新設します。

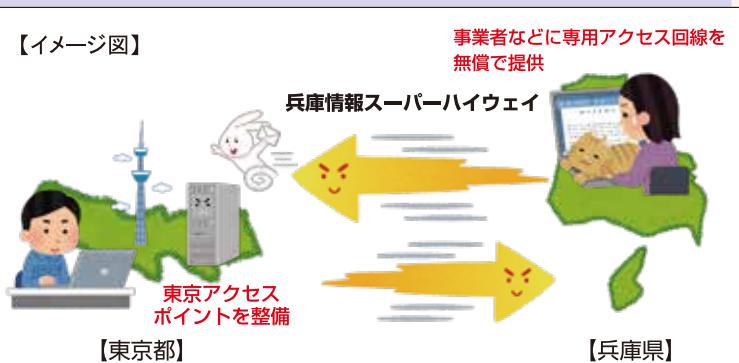
県内に整備されている兵庫情報ハイウェイ網を延伸し、兵庫一東京間に専用アクセスラインを構築するもので、県内に進出する事業者などに無償提供します。

通信回線は10GBで、登録制の専用回線なので混線することなく快

適に利用できるのがポイント。テレビ会議やテレワークなど新しいビジネスモデルに対応し、企業誘致やサテライトオフィスの利用促進を図るのがねらいで、生活様式の変化で生じた地方回帰の流れを後押していく予定です。運用開始は来年3月1日を予定。

また、売り上げの減少に直面する中小企業を支

えるため、事業所賃料の負担軽減で国給付金が支給されるまで、つなぎ融資枠を設定。新型コロナ対応資金として無利子・無保証料で貸し付けます。限度額は4000万円で、融資期間は10年以内です。



- ①井戸県政5期20年の総仕上げに向けた今後の取り組みについて
- ②令和3年度当初予算編成について
- ③二重行政の議論を踏まえた県と神戸市との連携のあり方
- ④新型コロナ対策の検証を踏まえた今後の対応について

〔代表質問〕

水田裕一郎議員

- ⑤コロナ禍の影響を踏まえた今後の少子化対策
- ⑥ポストコロナ社会を担うスタートアップ企業の集積・育成について
- ⑦本県農林水産業にかかる将来ビジョンについて
- ⑧「二酸化炭素排出2050年実質ゼロ」に向けた取り組み
- ⑨さらなる県土の強靭化を図るための今後の取り組み

▼ 第352回12月定例県議会（12月4日）▲

芸術文化観光専門職大学を設置へ

来年4月に豊岡市で開学する「芸術文化観光専門職大学」について、兵庫県立大学とともに効率的に経営するため、兵庫県公立大学法人を置いてアンブレラ方式（法人複数大学制）で

運営することになりました。同専門職大学は、演劇とダンスの実技が本格的に学べる初の国公立大学。学長は劇作家の平田オリザ氏が就任することになっています。

重症専用病棟を臨時整備

県立加古川医療センター

健康福祉事務所など感染対策で改修工事も

重要な分析装置などの機器を更新して検査体制を充実します。

さらに、公益社団法人関西経済連合会から贈られた寄付金をもとに、患者移送車や個人防護具などを県内12カ所の健康福祉事務所や政令市・中核市の保健所5カ所に導入します。

第352回定例県議会 一般質問者と主な内容

長瀬たけし議員=北朝鮮による拉致事件解決に向けた犯人検挙▷現在も続く北朝鮮の工作活動など

中田慎也議員=妊婦と胎児を守る新型コロナ対策について▷小児がんの治療などでのワクチン再接種制度の整備など

浜田知昭議員=多自然地域における地域づくり施策の効果について▷避難所の質の向上など

戸井田ゆうすけ議員=兵庫県立大学法人による兵庫県立大学及び芸術文化観光専門職大学の運営について▷兵庫県の漁業振興など

内藤兵衛議員=兵庫の未来づくりに向けた今後の財政運営について▷地域創生戦略の取り組みについてなど

来年度当初予算へ県当局に申し入れ

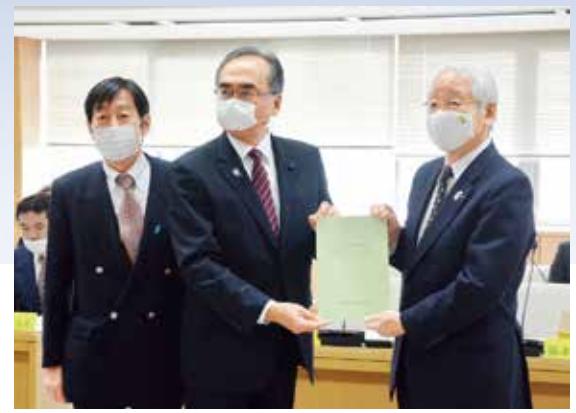
6 最重点項目、部会別301項目盛る

令和3年度の当初予算編成に向けて、9月に提出した重要政策提言6項目と分野別重要政策47項目をもとに、6つの最重点提言および部会ごとにとりまとめた計301項目の要望を井戸知事ら県当局に申し入れました。

新型コロナの総合的対策をはじめ、「力強い兵庫経済の再生」「災害に強い兵庫の実現」

「観光ツーリズム振興」「農業の競争力強化と持続的発展」などを盛り込んでいます。

- I 新型コロナウイルス感染症による影響への総合的な対策
- II 力強い兵庫経済の再生
- III 兵庫五国の「地域創生」の実現
- IV 「県民総活躍社会」の実現
- V 災害に強い兵庫の実現
- VI 兵庫の未来を切り拓く政策の推進



藤本百男幹事長（中央）、水田裕一郎政調会長（左）が井戸知事に申し入れ書を手渡しました

総務部会 TOPICS コロナ禍の影響など 観光業界らと意見交換

総務部会（内藤兵衛部会長）は11月4、5両日、コロナ禍を踏まえた出石や城崎温泉、有馬温泉など主要観光地の観光協会等で聞き取り調査を実施し、観光業や宿泊業への影響といった意見、要望をくみ上げました。主に感染防止対策、Go To キャンペーンの効果などの把握に努め、これから施策を検討していくための参考にすることとしています。



建設部会 TOPICS スマートシティなどで勉強会

建設部会（松本隆弘部会長）は11月16日、AIなどの先端技術で社会インフラを効率的に管理・運用するスマートシティ構想や、ICTを活用した課題解決などがテーマの勉強会をオンラインで実施しました。



❖❖❖ 今後の予定 ❖❖❖

令和3年

- 1月／阪神・淡路大震災関連行事、政務調査会
- 2月／定例県議会・予算特別委員会
- 3月／各種団体との意見交換

など

※三田市選出の関口正人議員(2期)が12月8日付けで自民党議員団に入団しました

議連活動 TOPICS 全被害者の即時帰国へ全力

北朝鮮拉致問題早期解決促進議員連盟は10月22日、北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（救う会）の西岡力会長による講演会を開催し、すべての被害者の即時帰国に全力を尽くすことを誓いました。



西岡氏は講演で、「北朝鮮が経済的に困窮して内部も混乱している今がチャンス」と指摘し、「援助を条件に被害者の帰国を取りつけて解決につなげるため、議員も声をあげてほしい」と要望、一丸となって訴えていくことを確認しました。

鳥インフルエンザ対策 補正予算で迅速対応

まん延防止、養鶏農家の経営支援など



淡路市で発生した鳥インフルエンザへの対策として、鶏農場で飼養されていた約14万6千羽を殺処分して焼却し、12月4日には汚染物の処理や鶏舎の消毒など一連の防疫措置が完了しました。

また、売り上げが減少した養鶏農家の経営支援、まん延防止、総合相談体制の整備などの緊急対策を講じるため、12月定例会で1億7千万円規模の補正予算を追加提案して可決し、速やかに実施していくことを決めました。